

# 松支図書館だより 1月号

平成29年1月10日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

新年おめでとうございます。

ご家族お揃いで、にぎやかな楽しいお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。



昨年は、自然災害に苦しめられ、何気ない日常生活のありがたさを改めて感じた一年でした。新しい年がおだやかで平和な一年でありますように心から願っています。

さて、三学期は学年の総まとめの時期です。一人一人が、自分自身の未来に向け夢に向かって頑張っ

各学部読書状況

※ ( ) 内は昨年度状況

	小学部	中学部	高等部普通科	専門学科	合計
9月	77 (99) 冊	88 (71) 冊	17 (24) 冊	56 (53) 冊	238 (247) 冊
10月	52 (116) 冊	71 (34) 冊	9 (10) 冊	91 (27) 冊	223 (187) 冊
11月	57 (92) 冊	23 (66) 冊	19 (17) 冊	46 (91) 冊	145 (266) 冊
12月	134 (127) 冊	3 (140) 冊	20 (25) 冊	31 (42) 冊	188 (334) 冊

このような状況です。昨年より読書数は減少？しているように数字の上からは感じられます。一年中で一番寒いこの時期、テレビやゲームにばかり熱中しないで静かな「読書タイム」も楽しんでみませんか？

◎◎宇城地区生徒図書委員合同研修会さんかに参加しました！◎◎

12月21日松橋高校で行われた研修会に本校からも3人の図書委員が参加しました。例年、7月に宇城地区県立高校7校が参加して実施していましたが、今年は会場校の松橋高校が熊本地震で被災され、12月の開催になりました。



当日は、午前中に各校の図書委員会の活動報告がありました。本校からは普通科3年の文化委員長が発表してくれました。午後からの研修には専門学科の二人も参加して他の高校生とも仲良く交流している姿がみられ、実り多い研修になったようでした。

☆★☆☆★☆☆★気になる本の紹介☆☆☆☆☆☆

「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」七月隆文著／宝島社文庫

作者はライトノベルス出身の作家です。その七月さんの初の一般文芸作品です。京都の美大に通うぼくと、秘密をかかえる美少女との束の間の逢瀬を描いた恋愛小説です。今月から、福士蒼太さん、小松菜奈さん主演で映画が公開されています。気になる人は本でも映画でも！（図書館所蔵あり）



☆☆☆ リレーエッセイNO56 ☆☆☆

「のせて のせて」(松谷みよ子)、「風が強くふいている」(三浦しをん)

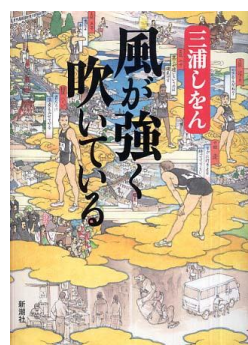
本にかかわる私の一番古い記憶は、2～3歳の頃、就寝前に母に読んでもらった絵本の記憶です。今考えると、母も仕事を持っていたのでとても忙しかったと思うのですが、毎日欠かさず読んでくれたのを覚えています。また、小学校に上がるまで、とても身体が弱かった私にとって、家や病院のベッドの上でいつでも読むことが出来る本は、身近な友人のような存在でした。大人になってから父に聞いた話では、「自分は小さい頃、あまり本を読んでこなかったから、自分の子どもには、小さい頃から本を読む習慣を付けさせたかった。」と言っていました。両親の努力の甲斐あって、私はめでたく「本の虫(自称)」となることができました。

さて、今日は今まで読んできたたくさんの中から、特に大好きな本を2冊紹介したいと思います。1冊目は、松谷みよこさんの絵本『のせて のせて』です。この本は、母が読み聞かせてくれた本の中の1冊です。まこちゃんという小さな女の子の車に、うさぎ、くま、ネズミなどの動物たちが「のせて、のせて!」とやってきて、みんなでなかよくドライブするというストーリーです。そのなかで私の一番好きな箇所は、まこちゃんの車が暗いトンネルに入る場面です。そのページになると、絵本をのぞき込みながら、母の声に合わせて「トンネル トンネル トンネル トンネル まっくら まっくら まっくら。」と言っていました。両親の話では、絵本を読んでいた時だけでなく、実際に車に乗って、トンネルを通った時も「トンネル トンネル トンネル トンネル。」と言っていたそうです。表題にはあかちゃんの絵本と書いてありますが、大人が読んでも楽しめる本ですので、興味がわいた方は是非1度読んでみてください。

2冊目は、三浦しをんさんの『風が強く吹いている』です。松橋支援でも、秋から冬にかけて駅伝やマラソン大会などの行事が行われますが、私は毎年この時期になると、この本が読みたくなります。この本は、お正月に開催される箱根駅伝を題材にしたストーリーです。主人公を含めた10人で箱根を目指すのですが、そのチームメイトが運動音痴のマンガオタク、25歳のヘビースモーカー、クイズ大会に出たことのないクイズ王など、風変わりでもとても魅力的なキャラクターがたくさん出てきます。また、箱根本番だけでなく、その日を迎えるまでの練習の様子や各キャラクターの気持ちの変化なども丁寧に描写されていて、ストーリーに深みが増しています。冬の夜は長いので、普段テレビやゲームをしている人も、この機会に本を読んでみてはいかがでしょうか?もし、本を読むのは自信がないという人は、『風が強く吹いている』は小出恵介、林遣都のW主演で映画化もされていますので、そちらの方を見てみてはいかがでしょうか?



(図書館所蔵あり)



(図書館所蔵無し)



※右の二作品所蔵あり (三浦しをん著)